

ぎんまい長岡京

長岡京吟詠会 会報
第35号 令和4年1月1日
発行 長岡京吟詠会
会長 本庄賀秀峰

年頭のごあいさつ

長岡京吟詠会 会長 本庄賀秀峰



新年あけましておめでとうございます。
今年も皆様と一緒に吟詠ができることを楽しみにしております。
今年、長岡京吟詠会が誕生して**50年目**に当たります。昭和47年(1972年)に、この長岡京吟詠会が、創設者千阪賀秀先生によって設立され、その後、多くの先輩方のお力で、ここまで続けてくることができました。詩吟を通して、元気で楽しい毎日を過ごせることにあらためて感謝をしたいと思います。

さらにこれからも長く長岡京吟詠会を育てていくために、今年もみなさんのお力をお借りしたいと思っております。そのため、今年から、**会員のみなさん全員参加**で長岡京吟詠会を育てたいけるよう 組織を大きく変更しました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
また、しばらく開催できませんでした「吟士権大会」「吟剣詩舞大会」を今年は是非とも実施したく思っています。どうか楽しみに、そして出吟を目標にして、日々の研鑽を益々重ねて頂きますようよろしく願い申し上げます。

当面の新体制長岡京吟詠会の主要行事

- ① 定期発表会〔兼予備試験〕：2月20日(日)
新しい試みの発表会、挙って参加して下さい。
- ② 長岡京吟詠会会員総会：2月27日(日)
初めての全員参加の総会です。参加願います。
- ③ 前期昇格審査会：3月27日(日)
受験申込みを忘れずにお願いします。(事務局)

R4年度 課題吟について〔府連・財団〕

課題吟は、全員に配布の「京吟1月号(第56号)」に掲載されますので、ご確認下さい。(事務局)

故 千阪先生の旧著「漢土故事物語」を解説(13)

りょうとう いのこ
遼東の冢

小林賀清風

ぎょりやう (北京近くの郡の名) の ぼうちやう (人名) は兵役の時、帝を助け功労がありしも、意中に望むところが高かったが叶えられず、常に不平を持っていた。昔、遼東(秦代に置かれた郡の名、今の遼寧省南部)に白頭の冢(豚)が生まれたので、牧場の主人は是は珍しいと、天子に献上すると莫大な褒美がもらえることを望んで、この白頭の冢を引き、京師(天子の都)に向かったが、川東(今の山西省の西部)に来ると、そこの塚は悉く白頭であったので、主人は大いに愧て立ち帰った。世間知らずで、自分だけが偉いと思っている者を指して言う。

中井賀秀煌先生からのお便り

本庄会長に近況ご報告のお手紙が届きました。その一部をご紹介します。

先日(18日)、京大病院にて肺がん手術後2年が経過し、診察の結果現在何らの異常がなく転移の傾向も観られず、今後は半年に1度検査ということになり、正直“ホッ”としたところです。また、糖尿病の検査は、今まで通り、月に1度通院し診察いただいております。糖尿病は今後も長い付き合いをしてストレスをためずに生活していきたいと思っています。何は共あれ肺がんが、手術後2年間何事も無かったということがうれしい限りです。これで、コロナが、無ければもっとももっとうれしいのですが、コロナの第六波が心配です。

しかしコロナワクチン3回目接種が遅くとも、4月迄に受けることが出来てうれしい限りです。また、カゼのワクチン接種も近々受ける予定をしています。カゼにも十分注意して生活を送っている状況です。

詩吟活動の件ですが、肺がんが見つかったから今まで2年と5カ月経ちました。今想えば長い様で、短い月・日が過ぎました。長岡京吟詠会の皆様方と会えるのももうすぐです。

遅くとも、来年の桜の咲くころには・・・
待ち遠しいです。

----- 以下省略 -----

以上

R4/1・2月の予定

＜新年から新体制で活動します
週・時間にご注意下さい＞



正月の走り田神社

長岡京吟詠会

- 1月 5日(水) 13:00 企画・研修部会 公民館講座室
- 1月 5日(水) 14:45 連絡会 公民館講座室
- 1月12日(水) 14:00 執行部会 公民館学習1
(運営会同日開催の場合は、会場を変更)
- 1月19日(水) 13:00 運営会 公民館視聴覚室
(1月12日開催の場合は、中止)
- 1月19日(水) 14:45 連絡会 公民館視聴覚室
- 2月 2日(水) 14:45 連絡会 公民館視聴覚室
- 2月 6日(日) 13:30 漢詩作詩研修会 公民館学習2
- 2月 9日(水) 14:00 執行部会 公民館学習1
- 2月20日(日) 13:00 定期発表会 こらさ1階交流センター
- 2月27日(日) 13:30 会員総会 こらさ1階交流センター

本部・総本部

2月13日(日) 京都本部常任理事会 丹波マークス

府連・府総連

2月26日(土) 府連役員総会[18:30~] 京都アスニー

シリーズ「吟道と剣道」その23

【音読が脳を活性化!!】 長尾賀秀剣

吟道でも剣道でもお腹から声を出すことが健康にも良いとされています。そして、声を出して読むと脳が活性化されることも昔から言われています。なぜ、黙読より音読の方が脳を活性化させるのか。それは、口を動かすこと、声帯を震わせることで脳神経を刺激し、また口から出した声が自分の耳に入ることによって、耳の中で言葉を聞き分けようとする別の脳神経が同時に働くからだそうです。この言葉を聞き分ける脳の分野と聴覚を使うことによって、声に出された言葉を記憶するのです。したがって、声を出して漢詩を読むことは、それを記憶するための最適な方法といえます。つまり、音読は大変優れた記憶術のひとつなのです。ところで、本来は記憶するための音読がなぜボケの予防になるのか。それは、記憶を忘れまいと思ったら、つねに繰り返し思い出し確認する必要があり、音読により記憶し、また音読をする。この記憶を出し入れする行為が脳を刺激しそれがボケ予防になると言うわけです。好きな漢詩を音読によって、いつどんな時でもスラスラ言える様に暗誦することもボケ予防に繋がっているそうです。戯訳を七五調か五七調の和歌風で音読・暗誦するのも心地良い脳の活性化になるかもしれません。

参考資料：フレディ松川(医学博士)氏の解説
 (「漢詩に遊ぶ」巻末)

田舎から われもこう 吾亦紅(我亦紅)

横山賀秀邦



リンドウと吾亦紅が一番好きな花。
 田舎から持ってきて、吾亦紅はしっかりと根付き今年もまた、暗紅色の丸い穂をつけました。
 ‘私も紅よ’と目立たないのに強調しているのでしょうか。私はそんなに自己主張する方ではありませんが、小さな穂を見ていると心が和みます。毎年毎年ドライにして、大きな壺にいっぱいです。

漢詩作詩研修会より

- ① 漢詩集「古京風韻第16号」が完成しました。
31首投稿されています。
一冊500円ですが、是非ご鑑賞下さい。
- ② 研修会のご案内
 日時 : 2月6日(日) 13時30分~15時30分
 場所 : 中央公民館 学習室2
 研修内容 : 漢詩作詩の基礎
 参加費 : 300円 (伊藤賀昌洋)

会費納入のお願い

長岡京吟詠会年会費(3,000円) と
 総本部員(四段・師範代以上)年会費(1,000円)
 の納入を、1月中にお願いします。(財務部)

「ぎんまい長岡京」新体制のご紹介とお願い!

1月1日の新年度から、「ぎんまい長岡京」の編集・制作を以下の新普及・広報部の編集委員が担当することになりました。従来にも増してのご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。積極的な投稿及び、情報提供に加え、配布等運営面のご協力もよろしくお願い申し上げます。(事務局)

新編集委員(敬称略)

尻枝賀秀道 市丸賀秀知、櫻澤賀秀櫻
 (チーフ) 西本章、後藤洋子、宮小路康文



『ぎんまい長岡京』編集室

長尾賀秀剣 西本章

※連絡先 長尾賀秀剣

Tel: 090-9095-3751

Email: knagao69@gmail.com